

1. プログラムの問題点・課題点

本プログラムは ASEAN 諸国を対象として学生受入れを実施しているが、数週間程度日本で滞在する場合、本資金では航空券と宿泊先の支援しかできないため、物価格差が生じている国の学生からは日常発生する生活費もままならないという意見があった。経済的余裕のある学生しかこのプログラムに参加できない等の問題が生じてしまうため、幅広く学生の交流を行うためには本資金の学生支援の方法を改善できると有難いと考えている。

2. グッドプラクティスの事例

本学は学生交流の一環として、フィールドワークを組み込んだプログラムを実施している。今年度8月には、ASEAN 諸国のパートナー大学と慶應の双方から学生を募り、熊本県水俣市で公害問題を取り扱ったフィールドワークを行う予定であり、パートナー大学からも日本でしか体験できないフィールドワークであると大きな期待が寄せられている。(例えば東日本大震災など) 日本独自の公害問題や災害問題などに非常に興味を持って、このプログラムへ参加していることがわかった。